

## 2024年9月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年11月13日

上場会社名 日本ファルコム株式会社 上場取引所 東  
コード番号 3723 URL <https://www.falcom.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 季洋  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 中野 貴司 TEL 042-527-0555  
定時株主総会開催予定日 2024年12月19日 配当支払開始予定日 2024年12月20日  
有価証券報告書提出予定日 2024年12月20日  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年9月期の業績 (2023年10月1日～2024年9月30日)

## (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期	2,524	2.1	1,240	△6.7	1,244	△7.5	852	△6.5
2023年9月期	2,473	△2.4	1,328	△9.0	1,344	△14.6	911	△11.3

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年9月期	82.90	—	8.6	11.9	49.1
2023年9月期	88.65	—	9.9	13.6	53.7

(参考) 持分法投資損益 2024年9月期 一百万円 2023年9月期 一百万円

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期	10,703	10,179	95.1	990.22
2023年9月期	10,128	9,532	94.1	927.32

(参考) 自己資本 2024年9月期 10,179百万円 2023年9月期 9,532百万円

## (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年9月期	848	△1	△204	9,543
2023年9月期	903	△5	△204	8,901

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年9月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年9月期	—	0.00	—	20.00	20.00	205	22.6	2.2
2025年9月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00	205	24.1	2.1

2023年9月期の期末配当金の内訳 普通配当10円00銭、記念配当10円00銭

2024年9月期の期末配当金の内訳 普通配当10円00銭、記念配当10円00銭

## 3. 2025年9月期の業績予想 (2024年10月1日～2025年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	600	△40.8	60	△88.1	60	△88.4	40	△88.8	3.89
通期	2,500	△1.0	1,200	△3.2	1,200	△3.6	800	△6.1	77.82

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年9月期	10,280,000株	2023年9月期	10,280,000株
2024年9月期	296株	2023年9月期	295株
2024年9月期	10,279,704株	2023年9月期	10,279,741株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）P. 4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 貸借対照表 .....	5
(2) 損益計算書 .....	7
製品売上原価明細書 .....	8
(3) 株主資本等変動計算書 .....	9
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(重要な会計方針) .....	11
(損益計算書関係) .....	12
(株主資本等変動計算書関係) .....	12
(キャッシュ・フロー計算書関係) .....	13
(金融商品関係) .....	13
(税効果会計関係) .....	14
(収益認識関係) .....	15
(セグメント情報等) .....	16
(持分法損益等) .....	17
(関連当事者情報) .....	18
(1株当たり情報) .....	19
(重要な後発事象) .....	19
4. その他 .....	20
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	20

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度のゲーム関連業界におきましては、世界のゲーム市場が回復傾向にあるなか、国内のゲーム市場は家庭用ゲーム機を中心に引き続き堅調に推移しております。また、国内PCゲーム市場に関しても拡大が続いているほか、小規模での制作開発によるインディーゲームにも注目が集まるなど、競争は厳しい一方で、優良なコンテンツの引き合いは総じて堅調に推移しております。当社におきましては、ユーザーの方々に喜んでいただけるゲームコンテンツ・ゲームソフトづくりにこだわり、その制作に邁進してまいりました。

その結果、当事業年度は音楽アルバム「ADOL CHRISTIN～イース生誕35周年音楽作品～」 「イースX-NORDICS- (ノーディクス) オリジナルサウンドトラック」を、Nintendo Switch向けには「英雄伝説 黎(くろ)の軌跡 for Nintendo Switch」 「英雄伝説 黎の軌跡II for Nintendo Switch」を、PlayStation 5/PlayStation 4向けには「イース・メモワール-フェルガナの誓い-」 「英雄伝説 黎の軌跡 スーパープライス」 「英雄伝説 黎の軌跡II-CRIMSON SiN- スーパープライス」を発売しました。そして、累計販売数800万本を超える「軌跡」シリーズ最新作「英雄伝説 界(かい)の軌跡-Farewell, 0 Zemuria- (フェアウェル オー ゼムリア)」をPlayStation 5/PlayStation 4向けに発売しました。引き続き、グローバルに当社ゲームコンテンツ(IP)を活用し、北米・欧州・アジア地域への展開やスマートフォン向けアプリのほか、アニメなどのメディア展開、他社コンテンツとのコラボレーション企画、各種イベントを開催するなど、様々な展開を推し進めております。

以上の結果、当事業年度の売上高は2,524百万円(前期比2.1%増)、営業利益は1,240百万円(同6.7%減)、経常利益は1,244百万円(同7.5%減)、当期純利益は852百万円(同6.5%減)となりました。

部門別の概況は以下の通りであります。

#### <製品部門>

当事業年度は、主に「イース」シリーズ生誕35周年記念タイトル「イースX-NORDICS-」をPlayStation 5/PlayStation 4/Nintendo Switch向けに販売したほか、2023年10月には音楽アルバム「ADOL CHRISTIN ~イース生誕35周年音楽作品~」、2024年1月には「イースX-NORDICS- オリジナルサウンドトラック」を、Nintendo Switch自社参入タイトル第四弾「英雄伝説 黎の軌跡 for Nintendo Switch」を2024年2月に、PlayStation 5/PlayStation 4向け「イース・メモワール-フェルガナの誓い-」を2024年5月に、Nintendo Switch自社参入タイトル第五弾「英雄伝説 黎の軌跡II for Nintendo Switch」及びPlayStation 5/PlayStation 4向け「英雄伝説 黎の軌跡 スーパープライス」 「英雄伝説 黎の軌跡II-CRIMSON SiN- スーパープライス」を2024年7月に発売しました。そして、累計販売数800万本を超える「軌跡」シリーズ最新作「英雄伝説 界の軌跡-Farewell, 0 Zemuria-」をPlayStation 5/PlayStation 4向けに2024年9月に発売しました。

以上の結果、製品部門の当事業年度の売上高は、646百万円(前期比0.1%増)となりました。

#### <ライセンス部門>

当社ゲームコンテンツ(IP)の様々なプラットフォームへの展開、当社キャラクターを利用した商品へのライセンス許諾などを行うライセンス部門では、PlayStation 5/PlayStation 4/Nintendo Switch/PC・Steam向けに「イースX-NORDICS-」繁体字中国語版及び韓国語版、PlayStation 5/PlayStation 4/Nintendo Switch/PC・Steam向けに「英雄伝説 創(はじまり)の軌跡」英語版、PlayStation 4/Nintendo Switch/PC・Steam向けに「那由多(なゆた)の軌跡」英語版、「英雄伝説 零(ゼロ)の軌跡」英語版、「英雄伝説 碧(あお)の軌跡」英語版などを販売しました。旧タイトルのPCゲーム英語版ダウンロード販売や、「イースVIII-Lacrimosa of DANA-」 「イースIX-Monstrum NOX-」 「英雄伝説 閃(せん)の軌跡III」 「英雄伝説 閃の軌跡IV-THE END OF SAGA-」 「東京ザナドゥeX+ (エクスプラス)」の英語版なども引き続き展開しております。

また、Nintendo Switch向け「英雄伝説 黎の軌跡 for Nintendo Switch」繁体字中国語版及び韓国語版、PlayStation 5向け「英雄伝説 閃の軌跡III&IV」英仏語版を2024年2月に、PlayStation 5/PlayStation 4向け「イース・メモワール-フェルガナの誓い-」繁体字中国語版及び韓国語版を2024年5月に、Nintendo Switch向け「東京ザナドゥeX+ for Nintendo Switch」英語版とPlayStation 5/PlayStation 4/Nintendo Switch/PC・Steam向け「英雄伝説 黎の軌跡」英語版を2024年7月に、Nintendo Switch向け「英雄伝説 黎の軌跡II for Nintendo Switch」繁体字中国語版及び韓国語版を2024年8月に、PlayStation 5/PlayStation 4向け「英雄伝説 界の軌跡-Farewell, 0 Zemuria-」繁体字中国語版及び韓国語版を2024年9月に発売しました。そして、弊社タイトル海外翻訳版のライセンス契約を締結しております。

以上の結果、ライセンス部門の当事業年度の売上高は、1,878百万円(前期比2.7%増)となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (総資産)

当事業年度の資産につきましては、前事業年度末と比較して574百万円増加し、10,703百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加が641百万円あったことに対して、売掛金の減少が52百万円あったことによるものであります。

## (負債)

負債につきましては、前事業年度末と比較して71百万円減少し、523百万円となりました。その主な要因は、未払金の減少が20百万円、未払法人税等の減少が66百万円あったことによるものであります。

## (純資産)

純資産につきましては、前事業年度末と比較して646百万円増加し、10,179百万円となりました。その要因は、剰余金の配当が205百万円あったことに対して、当期純利益が852百万円あったことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して641百万円増加し、9,543百万円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローは、次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は848百万円となりました。これは主に、税引前当期純利益を1,244百万円計上したものの、法人税等の支払額が444百万円あったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は1百万円となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が1百万円あったためであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は204百万円となりました。これは、主に配当金の支払額が204百万円あったためであります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年9月期	2021年9月期	2022年9月期	2023年9月期	2024年9月期
自己資本比率	88.8	92.8	91.1	94.1	95.1
時価ベースの自己資本比率	187.2	176.8	133.0	135.3	106.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	—	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ	—	—	—	—	—

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

1. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数により算出しております。

2. キャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては、上記いずれの期においても有利子負債が存在しないため、記載しておりません。

#### (4) 今後の見通し

次期におきましては、引き続き「英雄伝説 界（かい）の軌跡-Farewell, 0 Zemuria-」を展開いたします。2025年1月には音楽アルバム「英雄伝説 界の軌跡-Farewell, 0 Zemuria-オリジナルサウンドトラック」の発売を予定しております。また、現在進めているNintendo Switch向けゲームソフトの自社展開タイトルのほか、複数の移植タイトルなどを発売する予定です。

海外地域においても、PC・Steam向け「イース セルセタの樹海：改」繁体字中国語版及び韓国語版のほか、PlayStation 5/PlayStation 4/Nintendo Switch向け「イース・メモワール-フェルガナの誓い-」英語版や、PlayStation 5/PlayStation 4/Nintendo Switch/PC・Steam向け「英雄伝説 黎の軌跡II-CRIMSON SiN-」英語版、「イース X-NORDICS-」英仏語版など、順次マルチプラットフォームで翻訳版タイトルを展開する予定です。

そして、シリーズ累計800万本を超える当社代表作の1つ「軌跡」シリーズ最新作「英雄伝説 空（そら）の軌跡 the 1st（仮称）」を発売いたします。

引き続き、当社ゲームコンテンツを、ワールドワイドに様々なゲーム機やスマートフォンアプリ等のプラットフォームへと展開し、保有するIPコンテンツを積極的に活用するとともに、「軌跡」「イース」シリーズを含めた、新たなチャレンジとなる新規タイトルの制作も進めながら、今後も魅力的なゲームコンテンツを提供してまいります。

現在、「東京ザナドゥ」など複数の新プロジェクトを進行しており、発売タイトル数の拡大や新しいIPコンテンツ・ゲームの創出を進めているため、先行して開発費用の発生を見込んでおり、2026年9月期での新作タイトル複数リリースを目標としております。

2025年9月期の業績見通しにつきましては、売上高2,500百万円、営業利益1,200百万円、経常利益1,200百万円、当期純利益800百万円を見込んでおります。

当社の業績推移の特徴としましては、新製品の発売月に売上高が集中する傾向にあります。次期の売上見込みにつきましては、下半期、特に第4四半期の比率が高いことから、第2四半期の業績予想は、通期の業績予想に対して比重が低いものとなっております。

※本資料における予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績等は様々な要因によって、これらの見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

#### (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主各位に対する利益還元を経営の重要課題ととらえております。利益配分につきましては、将来の事業展開と長期にわたる経営基盤の強化のために必要な内部留保資金を確保しつつ、各事業年度の経営成績を考慮に入れて適切な配当を行うことを基本方針としております。

当事業年度の配当につきましては、期末配当として1株当たり10円（普通配当）に、記念配当10円（「軌跡シリーズ800万本突破」記念配当及び「軌跡シリーズ20周年」記念配当）を加えた20円とする予定であります。

また、次期の配当につきましては、期末配当として1株当たり普通配当10円に加え、業績に応じて記念配当を実施する予定であります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当事業年度 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,901,410	9,543,028
売掛金	1,024,216	971,475
製品	4,121	10,987
原材料	3,035	6,512
前払費用	14,799	14,613
その他	5,853	1,408
流動資産合計	9,953,437	10,548,026
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	38,904	39,804
減価償却累計額	△8,925	△11,346
建物附属設備(純額)	29,978	28,458
工具、器具及び備品	74,136	74,287
減価償却累計額	△54,682	△62,305
工具、器具及び備品(純額)	19,453	11,982
有形固定資産合計	49,432	40,441
無形固定資産		
ソフトウェア	114	440
電話加入権	757	757
無形固定資産合計	871	1,197
投資その他の資産		
長期前払費用	3,527	5,735
繰延税金資産	75,683	63,676
敷金及び保証金	45,362	43,967
投資その他の資産合計	124,573	113,378
固定資産合計	174,878	155,017
資産合計	10,128,316	10,703,043
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	107,495	131,504
未払金	99,377	79,363
未払費用	20,821	21,177
未払法人税等	271,223	204,794
未払消費税等	50,557	52,318
契約負債	10,142	2,828
預り金	8,420	4,911
賞与引当金	27,750	27,000
流動負債合計	595,788	523,898
負債合計	595,788	523,898

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当事業年度 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	164,130	164,130
資本剰余金		
資本準備金	319,363	319,363
資本剰余金合計	319,363	319,363
利益剰余金		
その他利益剰余金		
別途積立金	710,000	710,000
繰越利益剰余金	8,339,393	8,986,012
利益剰余金合計	9,049,393	9,696,012
自己株式	△359	△360
株主資本合計	9,532,527	10,179,145
純資産合計	9,532,527	10,179,145
負債純資産合計	10,128,316	10,703,043

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
売上高		
製品売上高	645,341	646,101
ロイヤリティ収入	1,828,242	1,878,418
売上高合計	※1 2,473,584	※1 2,524,519
売上原価		
製品売上原価	※2 239,971	※2 252,648
売上原価合計	239,971	252,648
売上総利益	2,233,612	2,271,870
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	10,881	16,900
広告宣伝費	104,361	77,538
販売促進費	35,221	48,136
役員報酬	70,001	89,277
給料及び手当	29,777	15,306
賞与	2,590	3,212
賞与引当金繰入額	2,948	3,160
法定福利費	15,081	20,209
賃借料	18,201	21,621
水道光熱費	2,154	2,159
支払手数料	42,547	38,145
消耗品費	2,079	3,662
旅費及び交通費	1,825	2,338
通信費	558	611
減価償却費	3,490	3,123
研究開発費	※3 530,169	※3 654,661
その他	32,895	31,661
販売費及び一般管理費合計	904,788	1,031,733
営業利益	1,328,823	1,240,137
営業外収益		
受取利息	84	940
為替差益	14,762	2,526
未払配当金除斥益	716	600
営業外収益合計	15,563	4,068
経常利益	1,344,387	1,244,205
税引前当期純利益	1,344,387	1,244,205
法人税、住民税及び事業税	441,855	379,984
法人税等調整額	△8,811	12,007
法人税等合計	433,044	391,992
当期純利益	911,343	852,213

## 製品売上原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)		当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
I 原材料費		183,265	75.6	192,628	74.2
II 労務費		21,085	8.7	23,861	9.2
III 外注費		26,326	10.9	35,593	13.7
IV 経費		11,814	4.9	7,430	2.9
小計		242,491	100.0	259,514	100.0
V 製品期首棚卸高		1,602		4,121	
合計		244,093		263,636	
VI 製品期末棚卸高		4,121		10,987	
差引 製品売上原価		239,971		252,648	

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本						純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	その他利益剰余金				
			別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	164,130	319,363	710,000	7,633,645	△300	8,826,837	8,826,837
当期変動額							
剰余金の配当				△205,595		△205,595	△205,595
当期純利益				911,343		911,343	911,343
自己株式の取得					△58	△58	△58
当期変動額合計	—	—	—	705,748	△58	705,689	705,689
当期末残高	164,130	319,363	710,000	8,339,393	△359	9,532,527	9,532,527

当事業年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本						純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	その他利益剰余金				
			別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	164,130	319,363	710,000	8,339,393	△359	9,532,527	9,532,527
当期変動額							
剰余金の配当				△205,594		△205,594	△205,594
当期純利益				852,213		852,213	852,213
自己株式の取得					△1	△1	△1
当期変動額合計	—	—	—	646,619	△1	646,618	646,618
当期末残高	164,130	319,363	710,000	8,986,012	△360	10,179,145	10,179,145

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	1,344,387	1,244,205
減価償却費	13,950	10,530
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,250	△750
受取利息及び受取配当金	△84	△940
売上債権の増減額 (△は増加)	163,543	45,427
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,349	△10,342
その他の資産の増減額 (△は増加)	51,784	3,818
仕入債務の増減額 (△は減少)	△41,095	24,009
未払金の増減額 (△は減少)	△2,108	△20,130
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△8,498	1,761
その他の負債の増減額 (△は減少)	△5,985	△5,783
小計	1,511,295	1,291,810
利息及び配当金の受取額	84	940
法人税等の支払額	△607,763	△444,390
営業活動によるキャッシュ・フロー	903,616	848,360
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△5,580	△1,430
無形固定資産の取得による支出	—	△435
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,580	△1,865
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△58	△1
配当金の支払額	△204,792	△204,876
財務活動によるキャッシュ・フロー	△204,850	△204,878
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	693,184	641,617
現金及び現金同等物の期首残高	8,208,226	8,901,410
現金及び現金同等物の期末残高	* 8,901,410	* 9,543,028

## (5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な会計方針)

## 1. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

製品・原材料

先入先出法による原価法(収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)を採用しております。

## 2. 固定資産の減価償却の方法

## (1) 有形固定資産

定率法を採用しております。(ただし、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備については、定額法を採用しております。)

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物附属設備	15～18年
工具、器具及び備品	4～8年

## (2) 無形固定資産

自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

## 3. 引当金の計上基準

## (1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

## (2) 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

## 4. 収益及び費用の計上基準

当社の主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する時点は、以下のとおりであります。

## (1) 製品部門

当社はゲームソフト等の企画、制作、開発及び販売を行っており、製品(ゲームソフト等)を顧客に提供しております。製品に対する支配を顧客が獲得した時点で履行義務が充足されますが、国内の販売においては「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項における代替的な取扱いを適用し、出荷時に収益を認識しております。

## (2) ライセンス部門

当社は自社制作のゲームソフト等のライセンス許諾を行っており、顧客とライセンス許諾契約を締結し、主に海外における制作、販売及び配信する権利等を供与しております。ライセンス許諾に係る収益のうち、返還不要の最低保証料については、ライセンスの供与時点において、履行義務が充足されるため、当該時点で収益を認識しております。

また、ライセンス許諾に係る収益のうち、売上高に基づくロイヤリティーに係る収益は、顧客の売上等を算定基礎として測定し、その発生時点において履行義務が充足されるため、当該時点で収益を認識しております。

## 5. キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3か月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。

## (損益計算書関係)

## ※1. 顧客との契約から生じる収益

売上高については、顧客との契約から生じる収益及びそれ以外の収益を区分して記載しておりません。顧客との契約から生じる収益の金額は、財務諸表「注記事項（収益認識関係）1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報」に記載しております。

## ※2. 通常の販売目的で保有する棚卸資産の収益性の低下による簿価切下額

	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
売上原価	4,686千円	7,003千円

## ※3. 研究開発費の総額

	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
販売費及び一般管理費	530,169千円	654,661千円

## (株主資本等変動計算書関係)

前事業年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	当事業年度期首株式数 (株)	当事業年度増加株式数 (株)	当事業年度減少株式数 (株)	当事業年度末株式数 (株)
発行済株式				
普通株式	10,280,000	—	—	10,280,000
自己株式				
普通株式	249	46	—	295

(注) 自己株式の当事業年度増加株式数46株は、単元未満株式の買取による増加であります。

## 2. 配当に関する事項

## (1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
2022年12月15日 定時株主総会	普通株式	205,595	20	2022年9月30日	2022年12月16日

## (2) 基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当額 (円)	配当の原資	基準日	効力発生日
2023年12月15日 定時株主総会	普通株式	205,594	20	利益剰余金	2023年9月30日	2023年12月18日

当事業年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

## 1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	当事業年度期首株式数 (株)	当事業年度増加株式数 (株)	当事業年度減少株式数 (株)	当事業年度末株式数 (株)
発行済株式				
普通株式	10,280,000	—	—	10,280,000
自己株式				
普通株式	295	1	—	296

(注) 自己株式の当事業年度増加株式数1株は、単元未満株式の買取による増加であります。

## 2. 配当に関する事項

## (1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
2023年12月15日 定時株主総会	普通株式	205,594	20	2023年9月30日	2023年12月18日

## (2) 基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額 (円)	配当の原資	基準日	効力発生日
2024年12月19日 定時株主総会	普通株式	205,594	20	利益剰余金	2024年9月30日	2024年12月20日

## (キャッシュ・フロー計算書関係)

※現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
現金及び預金	8,901,410千円	9,543,028千円
現金及び現金同等物	8,901,410千円	9,543,028千円

## (金融商品関係)

## 1. 金融商品の状況に関する事項

## (1) 金融商品に対する取組方針

当社は、資金運用については短期的な預金や安全性の高い金融資産に限定しております。

## (2) 金融商品の内容及びそのリスク

営業債権である売掛金は、顧客の信用リスクに晒されております。

営業債務である買掛金、未払金は1年以内の支払期日であります。

## (3) 金融商品に係るリスク管理体制

売掛金に係る顧客の信用リスクは、与信管理規程に沿ってリスク低減を図っております。

## (4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

## (5) 信用リスクの集中

当事業年度末における営業債権のうち、88.1%（前事業年度末は89.2%）が特定の大口顧客に対するものであります。

## 2. 金融商品の時価等に関する事項

## 前事業年度(2023年9月30日)

「現金及び預金」、「売掛金」、「買掛金」、「未払金」については、現金であること、及び短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。また、「敷金及び保証金」については、重要性に乏しいことから、記載を省略しております。

## 当事業年度(2024年9月30日)

「現金及び預金」、「売掛金」、「買掛金」、「未払金」については、現金であること、及び短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。また、「敷金及び保証金」については、重要性に乏しいことから、記載を省略しております。

(注) 金銭債権の決算日後の償還予定表

前事業年度(2023年9月30日)

	1年以内 (千円)	1年超 5年以内 (千円)	5年超 10年以内 (千円)	10年超 (千円)
現金及び預金	8,901,410	—	—	—
売掛金	1,024,216	—	—	—
合計	9,925,627	—	—	—

当事業年度(2024年9月30日)

	1年以内 (千円)	1年超 5年以内 (千円)	5年超 10年以内 (千円)	10年超 (千円)
現金及び預金	9,543,028	—	—	—
売掛金	971,475	—	—	—
合計	10,514,504	—	—	—

(税効果会計関係)

## 1. 繰延税金資産の発生の主な原因別の内訳

	前事業年度 (2023年9月30日)	当事業年度 (2024年9月30日)
(繰延税金資産)		
税務上の売上認識額	21,926千円	一千円
未払事業税損金不算入額	12,805千円	10,082千円
賞与引当金損金不算入額	8,497千円	8,267千円
棚卸資産評価損損金不算入額	2,907千円	4,172千円
減価償却超過額	21,731千円	26,057千円
その他	7,814千円	15,097千円
繰延税金資産合計	75,683千円	63,676千円
繰延税金資産の純額	75,683千円	63,676千円

## 2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主要な項目別の内訳

	前事業年度 (2023年9月30日)	当事業年度 (2024年9月30日)
法定実効税率	30.6%	—%
(調整)		
同族会社の留保金額に係る税額	3.6%	—%
試験研究費の税額控除	△2.1%	—%
その他	0.1%	—%
税効果会計適用後の法人税等の負担率	32.2%	—%

(注) 当事業年度は、法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が、法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。

## (収益認識関係)

## 1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前事業年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位：千円)

	製品	ライセンス	合計
日本	641,142	774,350	1,415,492
アジア	858	214,546	215,404
北米・欧州	3,341	839,345	842,686
顧客との契約から生じる収益	645,341	1,828,242	2,473,584
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	645,341	1,828,242	2,473,584

(注) 顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当事業年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位：千円)

	製品	ライセンス	合計
日本	637,426	845,172	1,482,599
アジア	2,200	35,181	37,382
北米・欧州	6,473	998,064	1,004,537
顧客との契約から生じる収益	646,101	1,878,418	2,524,519
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	646,101	1,878,418	2,524,519

(注) 顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## 2. 顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報

収益を理解するための基礎となる情報は、(重要な会計方針)「4. 収益及び費用の計上基準」に記載のとおりであります。

3. 顧客との契約に基づく履行義務の充足と当該契約から生じるキャッシュ・フローとの関係並びに当事業年度末において存在する顧客との契約から翌事業年度以降に認識すると見込まれる収益の金額及び時期に関する情報

## (1) 契約負債の残高等

(単位：千円)

	前事業年度	当事業年度
契約負債(期首残高)	52,824	10,142
契約負債(期末残高)	10,142	2,828

契約負債は、主にライセンス許諾に係る顧客からの前受金に関するものであり、前事業年度及び当事業年度に認識された収益の額のうち、契約負債の期首残高に含まれていた額は、前事業年度が9,900千円、当事業年度はありません。

## (2) 残存履行義務に配分した取引価格

残存履行義務に配分した取引価格の総額及び収益の認識が見込まれる期間は、以下のとおりであります。

(単位：千円)

	前事業年度	当事業年度
1年以内	10,142	2,828
1年超2年以内	—	—
2年超3年以内	—	—

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当社はゲーム開発・販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## 【関連情報】

前事業年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	製品部門	ライセンス部門	合計
外部顧客への売上高	645,341	1,828,242	2,473,584

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：千円)

日本	アジア	北米・欧州	合計
1,415,492	215,404	842,686	2,473,584

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
NIS America, Inc.	576,910	ゲーム開発・販売
株式会社コナミデジタルエンタテインメント	569,537	ゲーム開発・販売
株式会社クラウドレパードエンタテインメント	303,089	ゲーム開発・販売
株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメント	274,145	ゲーム開発・販売

当事業年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:千円)

	製品部門	ライセンス部門	合計
外部顧客への売上高	646,101	1,878,418	2,524,519

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位:千円)

日本	アジア	北米・欧州	合計
1,482,599	37,382	1,004,537	2,524,519

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
NIS America, Inc.	752,117	ゲーム開発・販売
株式会社コナミデジタルエンタテインメント	516,033	ゲーム開発・販売
株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメント	336,196	ゲーム開発・販売
株式会社クラウドイッドレバードエンタテインメント	293,189	ゲーム開発・販売

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (持分法損益等)

当社は関連会社がありませんので、該当事項はありません。

## (関連当事者情報)

## 関連当事者との取引

財務諸表提出会社と関連当事者との取引

財務諸表提出会社の役員及び主要株主（個人の場合に限る。）等

前事業年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金又は 出資金(千 円)	事業の内容 又は職業	議決権等の所 有(被所有)割 合(%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
主要株主	加藤正幸	—	—	会長	(被所有) 直接11.19	雇用契約	給与 (注)1	21,172	未払費用	900
役員及びその近親者が議決権の過半数を所有している会社(当該会社の子会社を含む)	株式会社呉ソフトウェア工房	埼玉県さいたま市見沼区	10,000	製造業	なし	役員の兼任	ゲームソフト開発業務の一部委託 (注)2	23,500	未払金	2,310

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) 1. 給与については、業務内容を勘案し、協議の上、決定しております。

2. 個別案件ごとに提示された見積りを他社より入手した見積りと比較の上、交渉により決定しております。

当事業年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金又は 出資金(千 円)	事業の内容 又は職業	議決権等の所 有(被所有)割 合(%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
役員及びその近親者が議決権の過半数を所有している会社(当該会社の子会社を含む)	株式会社呉ソフトウェア工房	埼玉県さいたま市見沼区	10,000	製造業	なし	役員の兼任	ゲームソフト開発業務の一部委託 (注)	27,650	未払金	2,640

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) 個別案件ごとに提示された見積りを他社より入手した見積りと比較の上、交渉により決定しております。

## (1株当たり情報)

前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)		当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	
1株当たり純資産額	927円32銭	1株当たり純資産額	990円22銭
1株当たり当期純利益	88円65銭	1株当たり当期純利益	82円90銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	911,343	852,213
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	911,343	852,213
期中平均株式数(株)	10,279,741	10,279,704
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. その他

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## a. 生産実績

当社は研究開発事業を主体とする会社であり、生産設備を保有していないため、該当事項はありません。

## b. 受注実績

当社は受注による生産を行っていないため、該当事項はありません。

## c. 販売実績

販売実績を事業区分別に示すと、次のとおりであります。

事業区分	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	比較増減	
	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)	前期比(%)
製品部門	645,341	646,101	759	0.1
ライセンス部門	1,828,242	1,878,418	50,176	2.7
合計	2,473,584	2,524,519	50,935	2.1

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 最近2事業年度の主要な販売先及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)		当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
NIS America, Inc.	576,910	23.3	752,117	29.8
株式会社コナミデジタルエンタ テインメント	569,537	23.0	516,033	20.4
株式会社ソニー・インタラクティ ブエンタテインメント	274,145	11.1	336,196	13.3
株式会社クラウドイッドレパード エンタテインメント	303,089	12.3	293,189	11.6